

1. 沿革

関西支所

昭和22. 4	林政統一による機構改革に伴う林業試験研究機関の整備のため、大阪宮林局内の試験調査部門の編成替により、農林省林業試験場大阪支場を局内に併置
昭和25. 4	京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室を設置
昭和27. 7	京都分室を廃止し、その跡地へ支場を移転し京都支場に改称
昭和28. 2	支場庁舎敷地として新たに伏見区桃山町（現在地）に所属替、同時に桃山研究室を設置
昭和31. 3	現在地に庁舎・研究室を新設・移転
昭和34. 7	関西支場に改称
昭和40. 3	研究室等を増改築
昭和41. 4	部制設置（育林・保護の2部）
〃	防災研究室を岡山試験地から移転
昭和51.11	庁舎・研究室（昭和31.3新築のもの）を改築
昭和57.12	鳥獣実験室を新築
昭和59.12	治山実験室を新築
昭和62.12	森林害虫実験棟（旧昆虫飼育室）を建替え
〃	危険物貯蔵庫を建替え
昭和63. 3	ガラス室、隔離温室を建替え
昭和63.10	林業試験場の組織改編により森林総合研究所関西支所に改称
〃	風致林管理研究室を育林部に新設
〃	調査室を連絡調整室に改称
平成元.12	粗試料調整測定室を新築
平成4. 3	風致林管理実験棟を新築
平成4. 4	鳥獣研究室を保護部に新設
平成5.12	森林微生物生理実験棟を新築
平成9.11	敷地、道路拡張のため大蔵省（近畿財務局京都財務事務所）へ引継
平成13. 3	育林棟増改築（遺伝子解析実験棟）
平成13. 4	省庁改編により独立行政法人森林総合研究所関西支所となる
平成17. 3	標本展示・学習館を新築

竜の口山量水試験地（旧岡山試験地）

昭和10. 8	岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
昭和12.12	林業試験場高島試験地に改称
昭和22. 4	林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場に改称
昭和27. 7	林業試験場京都支場高島分場に改称
昭和34. 7	林業試験場関西支場岡山分場に改称
昭和41. 4	林業試験場関西支場岡山試験地に改称
昭和60.12	試験地無人化となり事務所を閉鎖
昭和63. 9	旧庁舎、宿舍など施設を取壊
昭和63.10	林業試験場の組織改編により試験地廃止（竜の口山量水試験地として量水試験を継続）

2. 土地及び施設

1. 土地

関西支所敷地	64,046㎡
島津実験林	7,023㎡
宇治見実験林	3,818㎡
岡山実験林	13,324㎡
計	88,211㎡

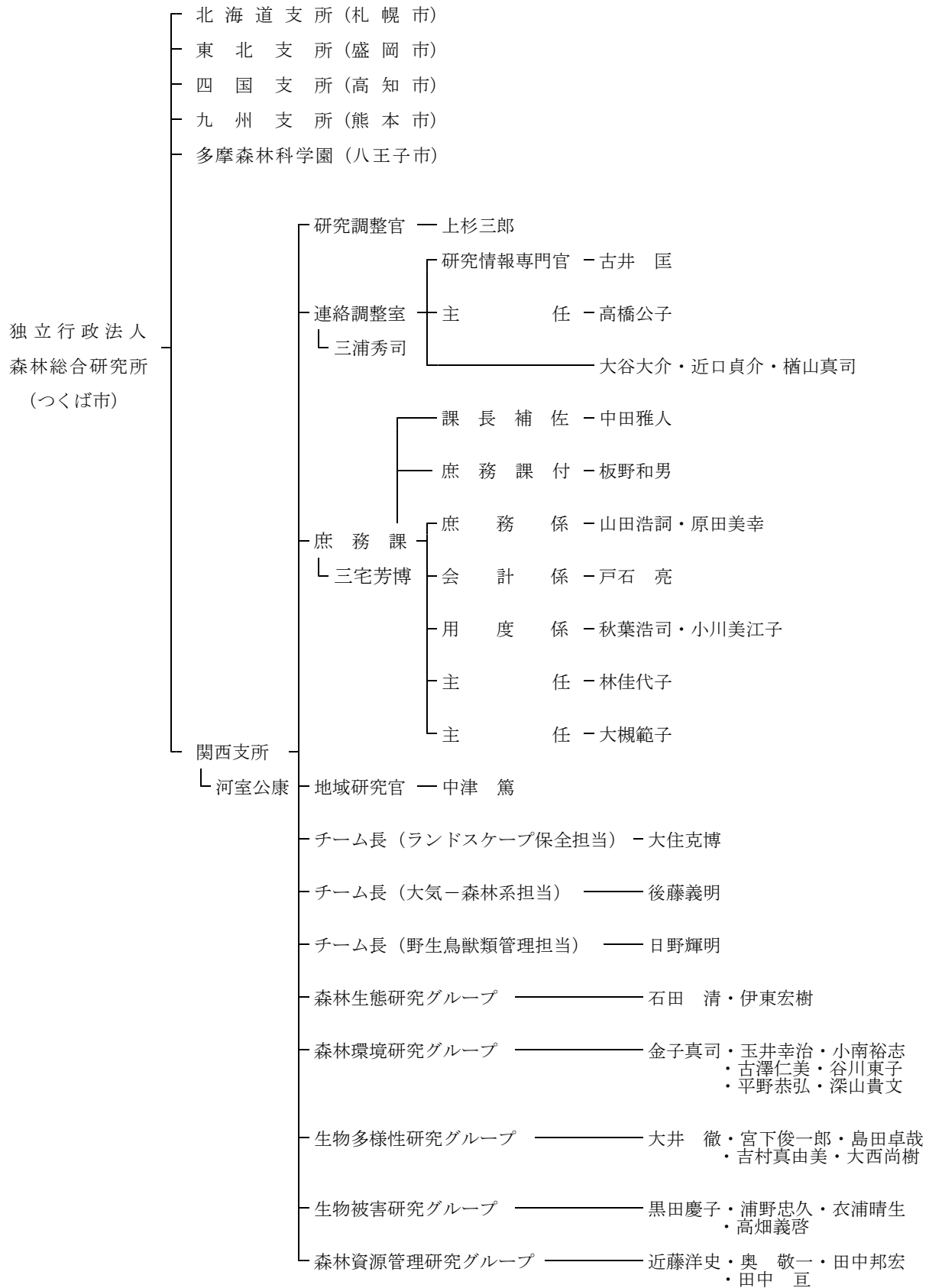
2. 施設（延べ面積）

庁内	舎	3棟	2,251㎡
研究室（本館）			(1,507)
〃（別館）			(604)
機械室			(140)
標本展示・学習館	1棟		248㎡
温室	1〃		85㎡
ガラス室	1〃		56㎡
隔離温室	1〃		124㎡
殺菌培養室	1〃		48㎡
樹病低温実験室	1〃		91㎡
森林害虫実験棟	1〃		219㎡
森林微生物生理実験棟	1〃		118㎡
鳥獣実験室	1〃		139㎡
治山実験室	1〃		157㎡
粗試料調整測定室	1〃		124㎡
材線虫媒介昆虫実験室	1〃		41㎡
風致林管理実験棟	1〃		260㎡
遺伝子解析実験棟	1〃		138㎡
事務連絡所	1〃		223㎡
その他	10〃		370㎡

計	28棟	4,692㎡
---	-----	--------

3. 組 織

(平成17年3月31日現在)



4. 人 の 動 き

(16. 4. 1～17. 3. 31)

16. 4. 1付

北海道支所庶務課長に

関西支所庶務課長に

関西支所長に

関西支所研究調整官に

関西支所主任研究官に

(生物被害研究グループ)

関西支所生物多様性研究グループに

関西支所庶務課付に

関西支所庶務課長

総務部総務課課長補佐

関西支所研究調整官

木材改質研究領域木材保存研究室長

関西支所主任研究官

(生物多様性研究グループ)

四国支所流域森林保全研究グループ

関西支所庶務課用度係長

高口 壽保

三宅 芳博

河室 公康

上杉 三郎

衣浦 晴生

吉村真由美

板野 和男

16. 4. 16付

関西支所庶務課会計係長に

関西支所庶務課用度係長に

関西支所庶務課

関西支所庶務課会計係長

戸石 亮

秋葉 浩司

16. 10. 31付

退職

関西支所主任研究官

(森林資源管理研究グループ)

深町加津枝

17. 3. 16付

海外研究領域海外森林資源保全研究室に

関西支所森林生態研究グループ

宮本 和樹

17. 3. 31付

定年退職

関西支所地域研究官

中津 篤

5. 会 議 等 の 開 催

1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会総会

この協議会は、森林総合研究所関西支所、四国支所及びその管内18府県の公立林業試験研究機関、林木育種センター関西育種場を含む22機関の長を会員として構成されており、年一回総会が開催される。平成16年度の第57回総会は、滋賀県森林センターの企画により6月10日・11日の両日にわたって滋賀県守山市で開催された。会議は国の機関ならびに全国林業試験研究機関連絡協議会の中央における林業試験研究関係の動向が紹介された。ついで各研究専門部会（8部会）から活動の状況と今後の計画について報告、提案され活発な討議が行われ、次年度の実施計画も含め承認された。

2. 林業研究開発推進近畿・中国ブロック会議

この会議は、林業研究開発推進会議要領に基づいて毎年開催されている。平成16度の会議はば・る・るプラザ京都において、9月8日に開催された。

会議には、府県側から近畿・中国地区14府県の林務部局担当者及び林業試験研究機関の長が、また国側から近畿中国森林管理局、林木育種センター関西育種場の関係者ならびに林野庁指導部研究普及課の赤間亮夫主席研究企画官及び佐藤佑介研究連絡係員及び岸郁雄海外情報係長、森林総合研究所から櫻井尚武理事（森林研究担当）及び関西支所関係職員が出席した。

会議では、林野庁から新規事業等の概要について、森林総合研究所、関西育種場、近畿中国森林管理局から試験研究及び技術開発の動向について、それぞれ紹介された。つづいて各府県から主要な研究の成果が報告された。さらに、新しい様式「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業（研究領域設定型）に対する提案課題」により各府県から提出された8課題の要望が各府県から提案され討論が行われた。これらの議題を討論した結果、2課題が摘出された。（抵抗性マツの育種および総合防除等に関わる課題、拡大竹林対策と利用に関わる課題）

3. 関西支所研究推進業務報告会、研究項目「里山」推進会議

独立行政法人化されると同時に、課題推進体制が組織体系から切り離されたことで、支所組織内の研究者が今年度の業務内容、次年度の計画を報告し、支所として今後の業務を検討する場として、1月13～14日（午前）支所業務報告会を行った。

4. 関西支所研究評議会

3月3日、外部有識者として安藤伸博近畿中国森林管理局計画部長、大江正温大阪府立食と緑の総合技術センターみどり環境部長、金澤洋一神戸大学大学院自然科学研究科教授の3名を招いて、支所研究評議会が開催された。本評議会は、支所の研究運営に関する全般的な意見聴取を行う場として、独立行政法人化にともない13年度から設置された。支所側から独立行政法人森林総合研究所の概要、本年度の関西支所の業務、主要成果等を報告した後に、外部有識者から指導・助言を受けた。

6. 依 頼 出 張

氏 名	依 頼 元	出 張 期 間	用 務
日野 輝明	(財) 自然環境研究センター	16. 4. 20	平成16年度大台ヶ原自然再生検討会 森林生態系部会ワーキンググループ出席
深町加津枝	滋賀県琵琶湖環境部林務緑政課	16. 5. 9	第2回山門水源の森生態系保全シンポジウムにおける基調講演
深町加津枝	(独) 緑資源機構近畿北陸整備局	16. 5. 18	南丹地区の環境調査及び保全対策の現地説明
大井 徹	京都大学霊長類研究所	16. 5. 22～16. 5. 23	第5回ニホンザル研究会「霊長類の保全生物学」出席
黒田 慶子	日本林学会	16. 5. 24	第23回日本林学会英文誌編集委員会出席
深町加津枝	(財) 国立公園協会	16. 5. 26～16. 5. 27	自然公園区域拡大・新規指定(由良川上中流地区・桂川上中流地区)第3回ワークショップ参加
近口 貞介	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
檜山 真司	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
高畑 義啓	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
日野 輝明	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 4	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
古澤 仁美	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 5. 31～16. 6. 4	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
河室 公康	近畿中国森林管理局	16. 6. 1	平成16年度近畿中国森林管理局技術開発委員会(第1回)出席
黒田 慶子	日本学術会議林学研究連絡委員会	16. 6. 4	林学研究連絡委員会(第19期第3回)出席
日野 輝明	近畿中国森林管理局	16. 6. 8	平成16年度業務研修野生生物保護管理研修講師
大井 徹	近畿中国森林管理局	16. 6. 8	平成16年度業務研修野生生物保護管理研修講師
大井 徹	京都府農林水産部	16. 6. 25	ニホンジカ及びツキノワグマ生態動態調査打合せ会議出席
日野 輝明	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 6. 28～16. 6. 30	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 6. 28～16. 6. 30	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査

氏 名	依 頼 元	出 張 期 間	用 務
深町加津枝	滋賀県琵琶湖環境部	16. 6. 30	滋賀県環境審議会出席
大井 徹	(独) 農業・生物系特定技術研究機構近畿中国四国農業研究センター	16. 7. 2	「ニホンザルフォーラム」の基調講演
深町加津枝	(独) 緑資源機構近畿北陸整備局	16. 7. 2	南丹区域農用地総合整備事業環境情報協議会出席
奥 敬一	近畿中国森林管理局	16. 7. 2	第1回里山再生推進モデル事業検討委員会出席
大井 徹	近畿農政局	16. 7. 6	第2回近畿地区野生鳥獣対策連絡協議会出席
大井 徹	中国四国農政局	16. 7. 9	中国四国地区鳥獣被害対策連絡会議及び四国地域野生鳥獣対策連絡協議会第7回幹事会出席
河室 公康	奈良県森林技術センター	16. 7. 14	奈良県森林技術研究評議会出席
深町加津枝	京都府丹後広域振興局	16. 7. 16	丹後縦貫林道整備計画検討委員会第1回委員会出席
深町加津枝	京都府土木建築部公園緑地課	16. 7. 20	府立天津橋立公園にかかる意見交換会出席
河室 公康	NPO法人シニア自然大学	16. 7. 23	「シベリアタイガ」の講義
深町加津枝	滋賀県琵琶湖環境部	16. 7. 26	滋賀県環境審議会自然環境部会出席
深町加津枝	京都府農林水産部	16. 7. 26	緑の公共事業政策検討会議出席
日野 輝明	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 7. 28～16. 7. 29	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 7. 28～16. 7. 29	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
黒田 慶子	奈良県森林技術センター	16. 7. 28	奈良県林業技術開発推進会議出席
河室 公康	南山大学	16. 7. 29～16. 7. 31	「地球科学」の集中講義
黒田 慶子	京都府環境審議会鳥獣保護部会	16. 7. 30	京都府環境審議会鳥獣保護部会
大住 克博	(社) 日本森林技術協会	16. 8. 3	里山林等における地球温暖化防止等のための森林整備に関する調査第1回委員会出席
深町加津枝	京都府企画環境部環境政策監	16. 8. 6	『環』の公共事業行動計画第1回ワーキング出席
河室 公康	福井県農林水産部	16. 8. 10	福井県農林水産試験研究評価会議出席
河室 公康	福井県農林水産総合グリーンセンター	16. 8. 10	平成16年度福井県林業研究評価会議出席
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	16. 8. 11	滋賀県ニホンザル保護管理検討委員会出席
大井 徹	北陸農政局	16. 8. 12	北陸地域野生鳥獣対策連絡協議会及び北陸地域鳥獣対策ネットワークの設立総会並びに合同研修会出席

氏 名	依 頼 元	出 張 期 間	用 務
黒田 慶子	日本学術会議林学研究連絡委員会	16. 8. 20	木材学・林学・森林工学研究連絡委員会合同会議及び各研究連絡委員会出席
深町加津枝	京都府農林水産部	16. 8. 23	緑の公共事業政策検討会議出席
深町加津枝	京都府企画環境部	16. 8. 25	第1回「平成16年度丹後海と星の見える丘公園（仮称）技術提案（プロポーザル）型設計者選定方式選考委員会」出席
大井 徹	（財）自然環境研究センター	16. 8. 31	平成16年度大台ヶ原自然再生検討会森林生態系部会及び大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画合同ワーキンググループ出席
日野 輝明	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 9. 2～16. 9. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 9. 2～16. 9. 3	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
深町加津枝	京都府企画環境部環境政策監	16. 9. 6	『環』の公共事業行動計画検討会議出席
深町加津枝	京都府丹後広域振興局	16. 9. 9	第2回丹後縦貫林道整備計画検討委員会出席
深町加津枝	京都府企画環境部	16. 9. 10	第2回「平成16年度丹後海と星の見える丘公園（仮称）技術提案（プロポーザル）型設計者選定方式選考委員会」出席
大井 徹	青森県知事	16. 9. 10	下北半島ニホンザル対策評価科学委員会出席
深町加津枝	（財）国立公園協会	16. 9. 13	第1回里地里山保全再生モデル事業（京都府北部地域）懇談会〔仮称〕出席
大井 徹	中国四国農政局	16. 9. 21	第6回四国地域野生鳥獣対策連絡協議会
深町加津枝	（財）国立公園協会	16. 9. 21	京都府における自然公園区域拡大・新規指定に関する専門委員会（第3回）出席
日野 輝明	（財）自然環境研究センター	16. 9. 27～16. 9. 29	野生鳥獣保護管理技術者研修会（ニホンジカ）講師
黒田 慶子	日本学術会議林学研究連絡委員会	16. 10. 5	林学研究連絡委員会（第19期第5回）出席
深町加津枝	京都府企画環境部	16. 10. 13	第3回「平成16年度丹後海と星の見える丘公園（仮称）技術提案（プロポーザル）型設計者選定方式選考委員会」出席
日野 輝明	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 10. 13～16. 10. 15	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 10. 13～16. 10. 15	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査

氏 名	依 頼 元	出 張 期 間	用 務
古澤 仁美	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 10. 13～16. 10. 15	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
高畑 義啓	名古屋大学大学院生命農学研究科	16. 10. 13～16. 10. 15	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査
日野 輝明	近畿中国森林管理局	16. 10. 21	「越美山地緑の回廊」の取り扱いに関する検討会
宮本 和樹	(独) 国際農林水産業研究センター	16. 10. 25	JIRCAS帰国報告会出席
金子 真司	(独) 国際協力機構	16. 10. 26～16. 10. 27	平成16年度ベトナム国「北部荒廃流域天然林回復計画」研修員に係る研修旅行同行
大住 克博	(社) 日本森林技術協会	16. 10. 27	里山林等における地球温暖化防止等のための森林整備に関する調査第2回委員会出席
大井 徹	福井県福祉環境部自然保護課	16. 10. 27	福井県ツキノワグマ出没防止研究会(第1回)出席
大井 徹	山口県環境生活部	16. 11. 2	西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会出席
大井 徹	京都府農林水産部	16. 11. 4	特定鳥獣保護管理計画ーニホンジカー検討会(専門家会議)出席
奥 敬一	近畿中国森林管理局	16. 11. 10	第2回里山再生推進モデル事業検討委員会出席
河室 公康	山口県林業指導センター	16. 11. 12	平成16年度林業試験研究に関する外部評価会議
大住 克博	山門水源の森連絡協議会	16. 11. 18	山門水源の森づくり現地研修会講師
中津 篤	NPO法人シニア自然大学	16. 11. 24	「身近な野生動物と夜の鼠」に関する講義
伊東 宏樹	兵庫県農林水産部	16. 11. 24	兵庫県森林災害復旧対策委員会出席
河室 公康	近畿中国森林管理局	16. 11. 25～16. 11. 26	平成16年度森林・林業交流研究発表会出席
衣浦 晴生	滋賀県湖西地域振興局	16. 11. 26	平成16年度淡海林業塾・森林病虫害等防除センター研修における講師
日野 輝明	情報・システム研究機構国立情報学研究所	16. 11. 30	平成16年度国際学術情報流通基盤整備事業作業グループ(生物系)個別会議出席
大住 克博	NPO法人シニア自然大学	16. 12. 1	「里山管理」に関する講義
奥 敬一	NPO法人シニア自然大学	16. 12. 8	「里山管理」に関する講義
伊東 宏樹	兵庫県農林水産部	16. 12. 8	兵庫県森林災害復旧対策委員会(第2回)出席
河室 公康	浄土真宗本願寺派親鸞聖人750回大遠忌準備事務所	16. 12. 8	講演
河室 公康	近畿中国森林管理局	16. 12. 16	平成16年度技術開発委員会(第2回)出席

氏 名	依 頼 元	出 張 期 間	用 務
河室 公康	近畿中国森林管理局	16. 12. 16	平成 1 7 年度における技術開発委員会
日野 輝明	(財) 自然環境研究センター	16. 12. 24	平成 1 6 年度大台ヶ原自然再生検討会 森林生態系部会出席
伊東 宏樹	兵庫県農林水産部	16. 12. 24	兵庫県森林災害復旧対策委員会 (第 3 回) 出席
伊東 宏樹	兵庫県農林水産部	17. 1. 12	兵庫県森林災害復旧対策委員会 (第 4 回) 出席
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	17. 1. 19	平成 1 6 年度第 2 回滋賀県ニホンザル 保護管理検討委員会出席
大住 克博	(社) 日本森林技術協会	17. 1. 27	里山林等における地球温暖化防止等の ための森林整備に関する調査第 3 回委 員会出席
大井 徹	岐阜大学21世紀COEプログラム	17. 1. 29	講演
玉井 幸治	(財) 水利科学研究所	17. 2. 15	水源林造成事業における公益的機能等 調査委員会 (平成 1 6 年度第 1 回)
黒田 慶子	日本学術会議林学研究連絡 委員会	17. 2. 18	林学研究連絡委員会 (第 1 9 期第 6 回) 出席
奥 敬一	近畿中国森林管理局	17. 2. 22	第 3 回里山再生推進モデル事業検討委 員会出席
大井 徹	富山県生活環境部	17. 2. 22	第 1 回富山県ツキノワグマ等保護管理 検討委員会出席
大井 徹	四国森林管理局	17. 2. 24～17. 2. 26	平成 1 6 年度森林・林業交流研究発表 会における特別講演
大井 徹	京都大学霊長類研究所	17. 3. 1～17. 3. 2	研究打合せ
黒田 慶子	京都府企画環境部環境政策 監	17. 3. 3	京都府環境審議会出席
大井 徹	滋賀県農業総合センター農 業試験場湖北分場	17. 3. 14	平成 1 6 年度農業総合センター獣害対 策研究会における講師
玉井 幸治	(財) 水利科学研究所	17. 3. 16	水源林造成事業における公益的機能等 調査委員会 (平成 1 6 年度第 2 回)
日野 輝明	(財) 自然環境研究センター	17. 3. 25	平成 1 6 年度大台ヶ原自然再生検討会 森林生態系部会出席
黒田 慶子	京都府森林病虫害等防除対 策協議会	17. 3. 25	京都府森林病虫害等防除対策協議会出 席

7. 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
上杉 三郎	近畿地区THP推進交流会	16. 8. 6	平成16年度研修会「企業における健康 配慮義務と裁判例」
近藤 洋史	近畿地区THP推進交流会	16. 8. 6	平成16年度研修会「企業における健康 配慮義務と裁判例」

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
小川美江子	農林水産研修所	16. 8. 30～16. 9. 17	平成16年度係員行政研修（Aコース：第2班）
秋葉 浩司	近畿地方整備局京都営繕事務所	16. 9. 7	第22回近畿地区官庁施設保全連絡会議・積算講習会
原田 美幸	人事院近畿事務局	16. 9. 8	平成16年度服務及び倫理制度に関する説明会
大槻 範子	人事院近畿事務局	16. 9. 8	平成16年度服務及び倫理制度に関する説明会
原田 美幸	人事院近畿事務局	16. 11. 24	災害補償実務担当者研修会
石田 清	森林総合研究所	16. 11. 30～16. 12. 2	平成16年度森林総合研究所中堅研究職員研修
近藤 洋史	森林総合研究所	16. 11. 30～16. 12. 2	平成16年度森林総合研究所中堅研究職員研修
谷川 東子	森林総合研究所	16. 11. 30～16. 12. 2	平成16年度森林総合研究所中堅研究職員研修
宮下俊一郎	森林総合研究所	16. 11. 30～16. 12. 2	平成16年度森林総合研究所中堅研究職員研修
山田 浩詞	人事院近畿事務局	17. 2. 4	平成16年度育児休業及び女子福祉制度研修会
山田 浩詞	人事院近畿事務局	17. 3. 3	JKET及びJST基本コースの改訂説明会
大井 徹 吉村真由美	N O V A 〃	16. 9. 10～17. 3. 4 16. 9. 28～17. 3. 2	平成16年度英語研修 平成16年度英語研修

8. 受託研究員受入

氏 名	所 属 機 関	研 修 内 容	期 間	受入担当グループ（G）
鳥山 淳平	京都大学農学部	森林土壌の物理特性測定およびデータ解析法	16. 4. 1～17. 1. 18	森林環境研究G
有馬 浩史	京都大学大学院 医学研究科	鳥類の構内粘膜擦過細胞よりゲノミックDNA抽出、PCR法を用いてのCHD領域の増幅及び電気泳動法によるCHD領域の遺伝子型決定	16. 4. 26～16. 5. 28	生物多様性研究G
大嶋 梨香	近畿大学農学部	都市近郊・里山林における物質循環に関する基礎的研究	16. 5. 17～17. 2. 28	森林環境研究G
堀内 美緒	京都大学大学院 農学研究科	里山ランドスケープ調査・解析手法の修得	16. 5. 17～17. 3. 31	森林資源管理研究G
加藤 禎孝	奈良女子大学 大学院人間文化研究科	アイソザイム分析手法	16. 5. 20～17. 3. 25	森林生態研究G
横山 恭子	京都大学大学院 農学研究科	景観保全意識調査・解析手法の修得	16. 6. 1～17. 3. 31	森林資源管理研究G
上西 眞琴	近畿大学農学部	地域住民の意識調査・解析手法の修得	16. 6. 1～17. 3. 31	森林資源管理研究G
北村 芳美	京都大学農学部	樹皮剥ぎ後からのツキノワグマのDNA抽出	16. 6. 1～17. 3. 31	生物多様性研究G

氏 名	所 属 機 関	研 修 内 容	期 間	受入担当グループ (G)
小林 聡	京都大学農学部	アミノクロウサギの糞からのDNA抽出	16. 6. 1～17. 3. 31	生物多様性研究 G
石井 敦子	滋賀県立大学環境科学研究科	里山二次林の更新過程についての生態学的調査法の習得	16. 6. 1～17. 3. 31	ランドスケープ保全 T (チーム)
落合香名子	近畿大学農学部	野外実験方法・統計解析	16. 7. 1～17. 2. 28	森林生態研究 G
井上 大輔	大阪教育大学教育学部	マイクロサテライト部位多型分析手法	16. 7. 1～17. 3. 25	森林生態研究 G
鵜飼 剛平	京都大学農学部	河川を中心とした景観構造の調査・解析手法の修得	16. 7. 1～17. 3. 31	森林資源管理研究 G
小林 由佳	京都大学大学院医学研究科	アイソザイムとマイクロサテライト分析による遺伝解析	16. 7. 4～17. 3. 25	森林生態研究 G
金子 有子	滋賀県琵琶湖研究所	アイソザイム及びDNAマーカーによる遺伝分析手法	16. 7. 15～17. 3. 25	森林生態研究 G
有馬 浩史	京都大学大学院医学研究科	メジロのゲノミックDNA抽出およびSWS1遺伝子領域のPCR増幅・シーケンス	16. 7. 20～17. 3. 31	生物多様性研究 G
井上みずき	京都大学大学院農学研究科	SSRマーカーによる遺伝分析手法	16. 7. 21～17. 3. 25	森林生態研究 G
宮崎 祐子	北海道大学苫小牧研究林	DNA抽出・AFLP法による解析	16. 8. 1～17. 3. 25	森林生態研究 G
大岸万里子	京都大学農学部	自然景観内における風力発電施設の景観評価手法の修得	16. 8. 1～17. 3. 31	森林資源管理研究 G
滝澤 伸	宮城県林業試験場	風致林・都市近郊林の管理と評価に関する研修	16. 8. 2～16. 10. 29	森林資源管理研究 G
清水 良訓	京都大学生態学研究センター	DNA多型解析による遺伝解析	16. 8. 8～17. 3. 25	森林生態研究 G
吉野 拓也	京都大学大学院農学研究科	衰退過程にある大台ヶ原トウヒ林における樹幹解析	16. 9. 1～17. 3. 31	野生鳥獣類管理 T (チーム)
佐藤 隆行	琉球大学農学部	材線虫病及びナラ類集団枯損など森林保護にかかわる分野についての研修	16. 9. 13～16. 9. 28	生物被害研究 G
槇坂 健司	三重大学生物資源学部	土壌の炭素と窒素の分析手法の修得	16. 9. 21～16. 12. 24	森林環境研究 G
柳沼久美子	福島県病害虫防除所	サルの被害実態、追跡法、その他サルの生態等に関すること	16. 10. 5～16. 11. 2	生物多様性研究 G
上村真由子	神戸大学大学院自然科学研究科	森林群落における炭素循環に関する基礎的研究	16. 12. 13～17. 3. 31	森林環境研究 G
壇浦 正子	神戸大学大学院自然科学研究科	森林群落における炭素循環に関する基礎的研究	16. 12. 13～17. 3. 31	森林環境研究 G
山口 由紗	京都府立大学農学部	NCアナライザーを使って、樹木の針葉の炭素と窒素の分析手法の研修	17. 1. 17～17. 1. 31	森林環境研究 G
高橋 明子	京都大学大学院農学研究科	マイクロサテライト分析による遺伝解析	17. 2. 24～17. 3. 25	森林生態研究 G

9. 海外派遣・出張

氏 名	行 先	期 間	用 務
宮本 和樹	マレーシア	16. 6. 7～16. 6. 25	アグロフォレストリー生産環境造成技術の開発
黒田 慶子	アメリカ	16. 6. 12～16. 6. 20	森林の健全性による研究情報の収集
玉井 幸治	カンボジア	16. 7. 18～16. 7. 26	「アジアモンスーン地域における人工・自然改変に伴う水資源変化予測モデルの開発」のための現地調査及び研究打合せ
大西 尚樹	アメリカ	16. 7. 26～16. 8. 6	「第18回保全生物学会」参加
浦野 忠久	オーストラリア	16. 8. 14～16. 8. 22	国際研究集会「第22回国際昆虫学会議」参加
衣浦 晴生	オーストラリア	16. 8. 14～16. 8. 22	国際研究集会「第22回国際昆虫学会議」参加
吉村真由美	アメリカ	16. 8. 22～16. 8. 31	「国際カワゲラ・カゲロウ合同会議2004」参加
石田 清	韓国	16. 10. 19～16. 10. 26	国際研究集会「第1回アジア生態会学連合国際学会」参加
玉井 幸治	ラオス、カンボジア	16. 10. 23～16. 11. 5	「アジアモンスーン地域における人工・自然改変に伴う水資源変化予測モデルの開発」のための研究発表及び試験地調査
大井 徹	ミャンマー	16. 11. 12～16. 12. 6	ミャンマー国におけるマカクの分布・生息実態調査
古澤 仁美	タイ	16. 11. 14～16. 11. 23	「タイ熱帯季節林の更新・維持に及ぼす山火事・タケの一斉開花の影響の解明」のための現地調査及び研究打合せ
宮本 和樹	マレーシア	16. 11. 28～16. 12. 28	「アグロフォレストリー生産環境造成技術の開発」（ワークショップ参加）
玉井 幸治	カンボジア	17. 3. 3～17. 3. 9	「地球水循環変動が食料生産に及ぼす影響の評価と対策シナリオの策定」のための打合せ及び現地調査
田中 亘	マレーシア	17. 3. 6～17. 3. 27	「アグロフォレストリーの社会経済的解析」

10. 見 学 者

区 分	国	都道府県	林業団体	一 般	学 生	外 国	計
人 数	17	17	5	96	487	19	641

11. 試験地一覧表

国 有 林

試 験 地 名	森 林 管理署	森 林 事務所	林 小 班	樹 種	面 積 (ha)	設定 年度	終了 予定 年度	担当研究 グループ (G)
高取山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	奈 良	吉 野	56 ほ 49 ほ	スギ	0.40	昭10	西暦 2050	森林資源管理
高取山ヒノキ人工林皆伐用材 林作業収穫試験地	奈 良	〃	56 ほ	ヒノキ	0.40	昭10	2017	森林資源管理
高野山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	和歌山	高 野	31 ろ	スギ	0.17	昭10	2013	森林資源管理
高野山ヒノキ人工林皆伐用材 林作業収穫試験地	和歌山	〃	31 ろ	ヒノキ	0.25	昭10	2013	森林資源管理
滝谷スギ人工林皆伐用材林作 業収穫試験地	兵 庫	波 賀	136 り	スギ	2.25	昭11	2020	森林資源管理
新重山ヒノキ人工林皆伐用材 林作業収穫試験地	広 島	三 和	49 と	ヒノキ	1.05	昭12	2016	森林資源管理
遠藤スギその他択伐用材林作 業収穫試験地	岡 山	上斎原	39 ろ	スギ	1.67	昭12	2057	森林資源管理
奥島山アカマツ天然林画伐用 材林作業収穫試験地	滋 賀	八 幡	79 は	アカマツ	1.75	昭13	2017	森林資源管理
地獄谷アカマツ天然林その他 択伐用材林作業収穫試験地	奈 良	郡 山	17 わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	昭15	2042	森林資源管理
篠谷山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	鳥 取	根 雨	715 い	スギ	0.80	昭34	2044	森林資源管理
茗荷湖山ヒノキ人工林皆伐用 材林作業収穫試験地	和歌山	飛 鳥	41 へ	ヒノキ	0.71	昭35	2070	森林資源管理
白見スギ人工林皆伐用材林作 業収穫試験地	和歌山	新 宮	5 ほ	スギ	1.24	昭37	2072	森林資源管理
六万山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	石 川	白 峰	55 る	スギ	0.79	昭37	2067	森林資源管理
西条保育形式試験地	広 島	西 城	11 へ	アカマツ	2.15	昭33	2004	森林生態
福山保育形式試験地	広 島	上 下	16 へ	アカマツ	2.25	昭33	2004	森林生態
竜の口山量水試験地	岡 山	岡 山	11ほ・こ・は	アカマツ他	44.99	昭10	2007	森林環境
馬乗山試験地	広 島	佐 伯	69 ち	スギ・ヒノキ	6.50	昭43	2005	森林生態
複層林施業試験地	滋 賀	大 津	20 わ	ヒノキ	0.24	昭59	2004	森林生態
針広混交誘導試験地	兵 庫	箕 面	72 ほ・り	ヒノキ	1.50	昭60	2005	森林生態
北谷水文試験地	京都・大阪	木 津	509 い	広葉樹	51.60	昭63	2006	森林環境
嵐山国有林風致試験地	京都・大阪	東 山	38	スギ他	59.03	平元	2009	森林資源管理

そ の 他

試 験 地 名	機 関	面 積 (ha)	設定 年度	終了 予定 年度	担 当 グループ (G)
京都市山科区御陵大谷町林野火災跡地 植生回復経過試験地	京都市上下水道事業管理者	0.022	平 6	2004	森林環境

12. 気 象 年 報

16年 月	気温℃ (測高 120cm)							気温別日数 (測高 120cm)				
	平均 9時	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最 高		最 低		
								< 0℃	≥ 25℃	< -10℃	< 0℃	≥ 25℃
1	3.6	8.7	-0.2	13.2	3	-4.0	23				13	
2	5.6	12.2	0.3	20.1	21	-3.2	10				17	
3	8.3	14.4	2.9	23.6	17	-2.5	5				4	
4	14.8	21.7	8.4	29.8	18	2.4	1		6			
5	19.8	25.3	15.0	33.8	30	9.8	6		17			
6	23.8	29.3	19.3	33.9	30	12.6	2		27			
7	28.3	34.3	23.5	36.7	24	19.5	2		31			5
8	27.1	32.6	23.1	36.0	12	19.3	16		31			6
9	24.8	30.0	21.1	34.1	7	17.6	30		27			
10	17.4	22.5	13.3	29.6	1	5.2	28		6			
11	12.8	18.3	8.7	23.0	10	4.5	17					
12	7.8	13.2	3.7	17.8	5,10	0.0	25					
年	16.2	21.9	11.6						145		34	11
極値				36.7	7/24	-4.0	1/23					

16年 月	湿 度 % (測高 120cm)			降 水 量 (mm)			量 別 降 水 日 数					
	平均	最小	起日	総 量	最大 日量	起日	≥1 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm
1	80.5	38.8	13	13.5	10.5	19	2	1				
2	75.6	22.7	20	54.5	30.5	22	3	2	1			
3	74.1	21.0	28	78.0	25.0	22, 30	6	3				
4	67.9	16.1	15	116.0	44.0	19	7	3	2			
5	78.2	20.1	6	263.5	56.0	16	11	7	3	2		
6	77.2	24.5	4	131.0	38.0	21	10	4	1			
7	75.7	33.4	23	97.0	43.0	10	5	3	1			
8	79.6	27.3	12	153.5	31.5	23	13	6	1			
9	84.2	39.2	9	189.5	85.0	29	11	5	1	1		
10	88.2	38.1	17	297.5	114.5	20	11	8	4	2	1	
11	89.4	40.1	3	90.5	27.5	12	5	4				
12	89.5	45.5	14	88.5	36.0	5	6	3	1			
年	80.0			1573.0			90	49	15	5	1	
極値		16.1	4/15		114.5	10/20						

*6/4～7の降水量は計器故障のため観測データ欠損

観測場所 (構内気象観測露場)

標 高: 65m

測定点: 北緯34° 56' 20" 東経135° 46' 40"

住 所: 京都市伏見区桃山町永井久太郎68番地